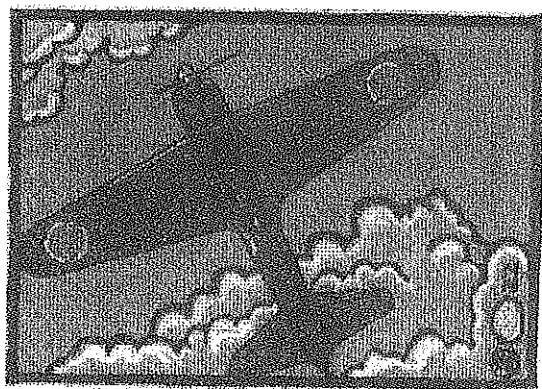


ボランティアマミュージカル(月の舟)を観て



利用者 岡本 信二

この物語は、太平洋戦争を始めるハワイの真珠湾攻撃に出兵した兵士の物語である。ハワイの真珠湾に、瀬戸町の三机湾が似ており、そこで海兵九名の先攻特殊部隊の訓練が行なわれた。彼ら若人は、軍の機密機構である訓練を何人にも話してはならず、只黙々と訓練をする日が続いた。彼らも、いつ訪れるとも解らぬ死の恐怖に怯え、自分達が生きて来たという証を何らかの形で残しておきたかった。ある者は小学生に歌を教え、ある者は男の子に野球を教え、又ある者は村の人達に太鼓の叩き方を教えた。そういった無形のボランティアを行った。遂に出動の時が来た時、彼



らは旅館の女将に、普段だと「行って来ます」という挨拶をするが、その日だけは「行きま
す」という挨拶を終えて去って
行った。

後に、真珠湾攻撃が行われ、彼らが戦死した事を瀬戸町の人々が新聞で知り、その悲しみを子供、大人の区別無く、涙に出して表したのである。

劇を観て、幼い子供が本当の涙を出して演じているのには感動しました。

『秋風が歌を運ぶよ!』

—アイルとのカラオケ交流会に参加して—

秋の風を感じる九月四日、三恵カラオケクラブ念願のアイル交流会が実現となりました。着くと玄関には「歓迎 三恵ホーム」の大きな看板が掲げられ、ビックリしました。交流会の会場は、身障のデイ・サービスで、NHKの素人のど自慢さながらのピアノ演奏で入場し、得点カードによる採点方法やその際のドラムによる演出にはとても感激致しました。

プログラムの最後には、両施設長さんの飛び入りもあり、場を盛り上げて頂きました。

交流会の後は、アイルの施設長自ら施設を案内して頂き、最新の施設の空間入浴機器等に新たな意識を持ちました。最後には、大勢の利用者と職員が出て温かく見送って頂きました。

今回の交流会で感じた事は、一つの行事に対する取り組み方の姿勢、そして外来者を迎え、見送る方への心配り、チリ一つない園内、多くの事を学ぶことの出来た交流会でした。

最後になりましたが、アイルさんとは、一番近くにある療護施設ですから、これからも多くの交流会を持ち、切磋琢磨してお互いの向上を図りたいと思います。

(佐竹)

